

せつこっこクラブ5月「せつこさんの財宝をさがせ！」を

開催しました

日 時 平成30年5月19日(土) 午後1時30分～3時15分  
参加者 8名(年長2名、小学1年生2名、小学3年生4名)  
職員 長岡、阿部(学芸員)

当館では節子さんの絵画作品だけでなく、絵画のモチーフになった壺や埴輪、家具など、節子さんが収集した愛着の品々が土蔵展示室で展示されています。今回の「せつこっこクラブ」では、節子さんの絵を鑑賞したあと、その絵に描かれている実物＝“節子さんの宝物”を土蔵展示室で探しました。

絵を見る前に、まずは講義室で導入のワークショップを行いました。コレクション展(常設展)「アトリエの風景」で展示されている節子作品《室内》《盾を持った武士》から、そこに描かれている節子さんの“宝物”を白抜きしたワークシートを用意し、節子さんがそこにどんな“宝物”を描いたかを、作品名や周囲の様子から想像して描き込んでもらいました。



次に常設展示室に移動し、実際の作品との“答え合わせ”を行いました。正解は「八角形のテーブル」と「埴輪」ですが、もちろんぴったり正解するわけではありませんし、正解することが目的ではありません。想像すること、そして想像したことを絵で表現することを目的としたワークショップですので、みんなしっかりと表現できていて感心しました。



最後に、その「八角形のテーブル」と「埴輪」の実物を探しに、土蔵展示室に入りました。どちらもあっという間に見つかってしまいましたが、この“宝探し”をきっかけに、そのほかの壺や瓶、着物などの“宝物”にも、あらためて目を向けてもらうことができました。これらの愛着の品々を通じて、節子さんの人柄や美意識を感じてもらえたら嬉しいです。（長岡）

